

## 令和3年度第4回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和3年11月19日（金）午前10時～11時20分

■場 所：府中駅北第2庁舎3階 会議室

■出 席：（敬称略）

（委員）（7名）室 英治、塚原 仁、山田 義夫、増山 弘子、表 伸一郎、成瀬 こずえ、石川 伊智郎

（事務局）（2名）桑田 浩、塚原 二郎

■欠 席：小西 信生

■議 事

### 1 委員の再任について

委員のこれまでの任期がこの11月14日で終了し、11月15日より新しい任期となる。新任期の期限は、令和5年11月14日までの2年間となる。また、内山委員については、再任の意思確認がとれていないことから、任期切れとなっている。なお、現在の委員の人数は8名となっている。

・定数はあるのか。

⇒ 最大で15名。まだ、就任できるので、現在、教育関係者と農業関係者を探している。

審議会の委員（環境審議会）にお願いしてみてもどうか。もしくは周りに良い方がいないか聞いてみるかどうか。

・市の方で所属などの枠組みや指定があるのか。

⇒ ない。

任期に関連して委員の役割などの話が派生した。

明確なミッション、スキームがあって任期に期限を決めるなら必要だが、活動の見通しをして、もう一度議論を何回かして決めたいとか、ミッションが見えたらどのような計画ができるのかにより必要性がみえてくる。

活動センターについて、これまで散々議論しているが。コロナの影響もあり頭の切り替えができたところもあるので、見直しに良い機会ではないか。

現在、検討調整会から4名が環境審議会に参加している。両方の会議に出ている者は、どちらのメンバーでもあることからそれぞれの会議で言いにくい部分もある。検討調整会の議論だけがグルグル回り何をしたいのか。どういう方向へ持って行かなければいけないのかわからない。例えばサポーターとは何かとか。まずは人、場所、金を用意し、実際に動き出せば良い方向へ動くと思うが。

本日は手順的に段取りがなく時間が限られるので、活動センターのあり方について市の中で検討調整していただき市としての意見をもらい、それに対

して検討調整会が何をどうするのか決めたら良い。次回あたりには市の見解を聞かせてほしい。昨年のレポート（あり方検討資料）の結果をきちんと回答いただきたい。

今は新庁舎へ移る良いチャンスになるので、ここで何とかしつかりした形で移転先を決めたい。このままでは新庁舎に活動センターはスペースがないため移るできない。このチャンスにどこかに場所を確保したい。第1次環境基本計画では推進協議会と支援センターが連携組織となっているが、第2次環境基本計画では変更され、活動センターが独立した形となり、市から離れたものとなっている。市と別で一団体としての活動センターのようにみえる。市には活動センターに要望される機能・役割が期待できないのかと考えられる。また、環境基本計画の中では活動センターが多く役目をするように書かれているが、これに対応できているのか。環境審議会の方で活動センターの場所とか用意してもらえないか。現在の環境審議会は、審議を行う行政組織としてあり立案・計画を作るところではない。この図は、環境審議会で決めたもので市長も認めたものである。独立した図となると市から離れ完全独立したものになり（市の）事務局が無くなるのでは、この先がどのようになるのか不安が残る。市で方向性を決めてほしい。

皆さんの言うとおおり、今がタイミングなので何らかの形でも進めなければならぬと思っている。環境政策課の予算で委託事業として、だれか2人くらいの方が常駐するのであれば動き始めると思う。八王子市や日野市のように場所がないので、まずこれを作る必要がある。本来、ふれられている役割・機能などを進める。体制を整え、役割を果たすべき。

活動センターだより40号で、活動センターのことを書いたらどうか。市民向けに検討調整会の委員長としての意見を書いても良いのでは。例えば、活動センターの設置や経過などを含めて。

## 2 報告

- ① 令和3年度第3回検討調整会議事録の確認。了承。
- ② 第5回かんきょう塾の開催報告

第5回かんきょう塾アンケート結果見ながら説明。今回はペルーでの青年海外協力隊の活動と環境教育についての講演で、大変好評であった。今回、メール配信によるPRを行ったが「JICA」、「ペルー」といった言葉を入れることでこれまでと異なる方々の参加がみられた。特に少数ではあるが大学生など若い方の参加もあった。環境審議会でのPRで委員が来ていた。参加者が予定より多く、今年のように講座を単体として開催することも良いかと。

かんきょう塾は当初エコリーダーの養成講座として10年はシリーズ(連続講座)で、その後は単発又はシリーズで開催してきた。最初は学者的な講座で難しく受講者も減ったため、生活に密接した内容や話題性のあるもの、入門編のようなものにした経緯がある。

個別の講座として開催するのは、その都度、交渉、準備などを行うため、かなりの手間がかかるため大変であった。また、リーダーなどの人材育成はシリーズでの開催が良いので、基本的にはシリーズ開催をするが、毎回、新しい人を受け入れ、シリーズ、単体どちらでも参加できるようにしたい。  
・ラジオ府中は利用できないか、若者向けである。また、回覧板、電子回覧板の利用はあるのか。

⇒ 電子回覧板については、現在、市内では正式に使用されていない。

JICAの活動発表をしているので、JICAの協力を得てオンラインで配信できないか。JICAの講座は続けたい。

③ その他 なし。

### 3 議事

① 令和3年度のかんきょう塾ほかイベントの開催について

今後のイベントは、11月27日：エコクッキング、12月11日：第6回かんきょう塾、12月26日：森キッズ ドングリ de 森づくり1回目、1月10日：森キッズ ドングリ de 森づくり2回目、2月19日：10周年記念公開講座、2月26日：親子バス見学が予定されている。なお、10周年記念公開講座についてはビデオ配信を行う予定。ひばりホールは現在60名の制限がある。人数については講師と相談する。ドングリ de 森づくりについては新聞に流してみてもどうか。これは、ドングリを育てて浅間山に移植するイベントで、これを毎年行う一つの流れとしたい。

② 令和4年度の講座・イベントについて

今回は、令和4年度の事業(講座・イベント)を決めていきたい。何かアイデアがあれば、教えていただきたいのでメールを事務局へ。

③ その他

委員からの新聞記事はメールで送ります。

・環境審議会に4名が参加しているが、第3次環境基本計画に検討調整会の位置付けをしているか。また、検討調整会ではこういった話をしていないが、それで良いのか。これまでの環境審議会では活動センターについて全く触れていないが、どちらかが声をあげないとダメではないか。環境審議会の開催回数を考えると進め方がわからず、何回もないのでどのような話になるのか心配している。次の計画にどのような形で入れられるのか。

これから具体的に決めるのであればどのようなになるのか。

⇒ 今のところ活動センターにこれをやってほしいという話はない。

活動センターの計画、実施、主体どのように決められるのか。決まる時点では計画への反映が間に合わない。活動センター関係者に同意を得ないで進めて良いのか。次回の環境審議会に触れなくても良いのか。

事務局でこの3つ（活動センターの計画、実施、主体）について庁内の調整プロセスを示してほしい。また、委員には考え方や意見をしていただく。次回の議題としたい。

以前にまとめた学校教育用資料がそのままで良いのか。教育委員会に渡し、中学校で一度資料を使い環境学習を行っているが、どうするのか。

浅間山でダイヤモンド富士が11月20～22日の16時15分前後に見ごろとなる。ここで、浅間山自然保護会の会員が10名ほど増えた。広報に募集記事を掲載した。活動センターのサポーターも広報に募集をしてみてもどうか。

しかし、サポーターは何をするのか。イベントの手伝いだけでは人は集まらない。サポーターを募集し始めたころは、自分の得意分野がありそれを活用したいと思っていた人が多くいたが、その方たちを上手く生かすことができず、大半はやめてしまっている。

#### ■次回開催予定日

令和3年度第5回府中市環境保全活動センター検討調整会について  
(通算127回)

日 時：令和3年12月21日（火）午後1時30分～

場 所：本庁東庁舎7階 事務スペースB